

学校法人熊本城北学園 平成 30 年度決算概要

学校法人熊本城北学園の平成 30 年度決算は、令和元年 5 月 30 日に開催された理事会及び評議員会において承認されました。

ここでは、企業会計における損益計算書に相当する事業活動収支計算書及び財政状態を表す貸借対照表をもとに、平成 30 年度決算の概要についてご報告致します。

1. 事業活動収支計算書

(1) 教育活動収支の部～本業である教育活動における収支

教育活動収入は、前年比 2,575 万円減少して 19 億 4,787 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 学生生徒等納付金～在籍学生数の減少により、前年比 3,703 万円減少しました。
- ② 手数料～入学検定料収入の減少等により、前年比 62 万円減少しました。
- ③ 寄付金～前年比 19 万円減少しました。
- ④ 経常費等補助金～国庫補助金は前年比 365 万円増加しましたが、地方公共団体補助金が前年比 443 万円減少したことにより、前年比 78 万円減少しました。
- ⑤ 付随事業収入～補助活動収入の減少等により、前年比 107 万円減少しました。
- ⑥ 雑収入～私立大学退職金財団交付金収入の増加により、前年比 1,395 万円増加しました。

教育活動支出は、前年比 1 億 3,705 万円減少して 20 億 2,941 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 人件費～退職給与引当金繰入額が前年比 3,278 万円増加しましたが、(教育・事務) 職員数減少に伴う職員人件費の減少により、前年比 5,666 万円減少しました。
 - ② 教育研究経費～熊本地震被災に係る授業料等減免制度の終了に伴う奨学金の減少等により、前年比 5,647 万円減少しました。
 - ③ 管理経費～広報費、業務委託費、手数料報酬の減少等により、前年比 2,852 万円減少しました。
- ⇒教育活動収入から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、前年比 1 億 1,130 万円増加して 8,155 万円の支出超過となりました。

(2) 教育活動外収支の部～財務活動における収支

教育活動外収入は、預金金利の低下に伴う受取利息・配当金の減少により、前年比 52 万円減少して 310 万円となりました。

教育活動外支出は、本学園では借入金がないため 0 となっています。

⇒教育活動外収入から教育活動外支出を差し引いた教育活動外収支差額は、前年比 52 万円減少して 310 万円の収入超過となりました

⇒教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年比 1 億 1,078 万円増加して 7,845 万円の支出超過となりました。

(3) 特別収支の部～資産の売却・処分等の臨時的な収支

特別収入は、現物寄付として同窓会より中庭の寄贈を受けたことにより、前年比 1,813 万円増加して

3,197万円となりました。

特別支出は、不要となった図書（約 6,000 冊）を除却処理したことにより、前年比 2,161 万円増加して 2,193 万円となりました。

⇒特別収入から特別支出を差し引いた特別収支差額は、前年比 349 万円減少して 1,004 万円の収入超過となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、前年比 1 億 729 万円増加して 6,841 万円の支出超過となりました。また、基本金 8,878 万円を組み入れた後の当年度収支差額は、前年比 1,852 万円増加して 1 億 5,718 万円の支出超過となりました。

この当年度収支差額に前年度繰越収支差額 2 億 3,704 万円を加えた 7,986 万円が、翌年度繰越収支差額となります。

2. 貸借対照表

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 5,642 万円減少して 94 億 7,962 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①固定資産～特定資産の増加により、前年比 7,296 万円増加しました。

④有形固定資産～減価償却資産の償却進行等により、前年比 1 億 6,613 万円減少しました。

⑤特定資産～退職給与引当特定資産を 4,000 万円、奨学資金引当特定資産を 2 億円、それぞれ積み増したことから、前年比 2 億 4,000 万円増加しました。

⑥その他の固定資産～ソフトウェアの償却進行等により、前年比 92 万円減少しました。

②流動資産～上記、引当特定資産（退職給与・奨学資金）への繰入に伴う現金預金からの振替等により、前年比 1 億 2,938 万円減少しました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 1,199 万円増加して 9 億 9,424 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①固定負債～退職給与引当金の増加により、前年比 4,001 万円増加しました。

②流動負債～未払金及び預り金の減少により、前年比 2,803 万円減少しました。

(3) 純資産の部

純資産額は、前年比 6,841 万円減少して 84 億 8,538 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①基本金～第 1 号基本金への組み入れにより、前年比 8,878 万円増加しました。

②繰越収支差額～前年比 1 億 5,718 万円減少しました。

以上の結果、負債及び純資産の部合計は、前年比 5,642 万円減少して 94 億 7,962 万円となりました。

なお、減価償却の累計額は、前年比 2 億 3,450 万円増加して 42 億 2,977 万円となっています。

平成 30 年度決算概要についてのご報告は以上となります。